

水稻（育苗～中干し）の 栽培管理ポイント

平成 29 年 3 月
安足農業振興事務所

1. 28 年産を振り返って

【早植栽培の生育・収量】

平年に比べ、出穂期は 5 日、成熟期は 7 日早かった。

生育中期の茎数は平年よりも少なく、葉色は平年並であったが、窒素吸収量は平年よりも高く、充実した稲体となっていた。収量構成要素の穂数・一穂粒数は、平年に比べ少なかったが登熟歩合が向上し、収量は平年並となった。

【普通植栽培の生育・収量】

平年に比べ、出穂期は 1 日、成熟期は 6 日早かった。

前作の麦の収穫作業が平年より早く進んだことから、移植も順調に進んだ。生育中期の茎数・葉色は平年並に推移した。収量構成要素の一穂粒数は平年に比べやや少なかったが総粒数は平年並、登熟歩合は平年より高く、収量は平年並となった。

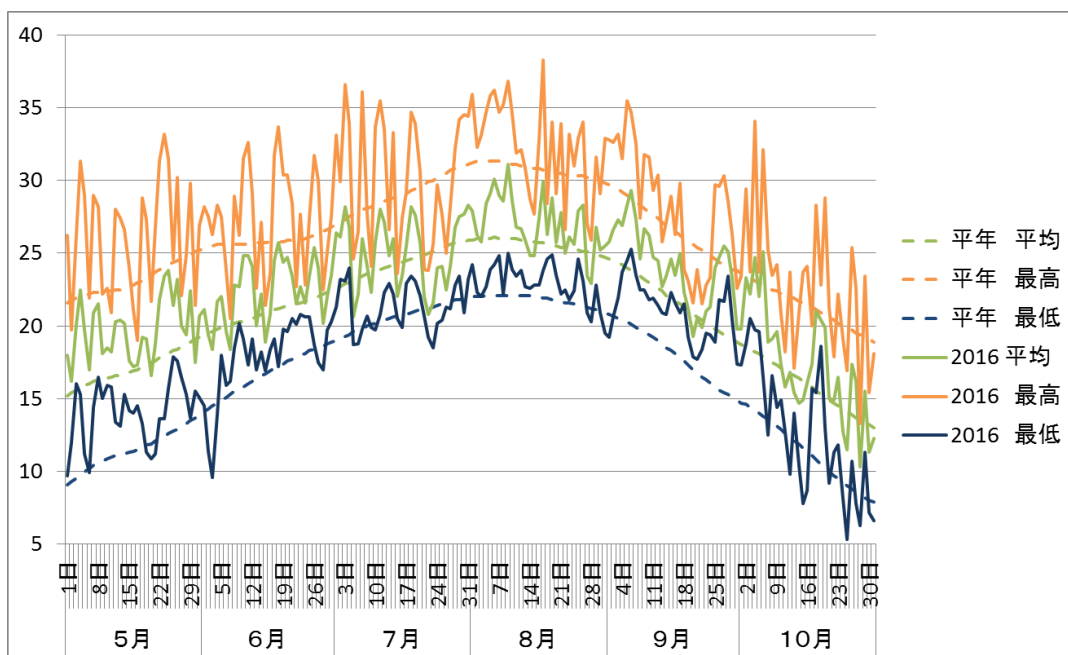
【病害について】

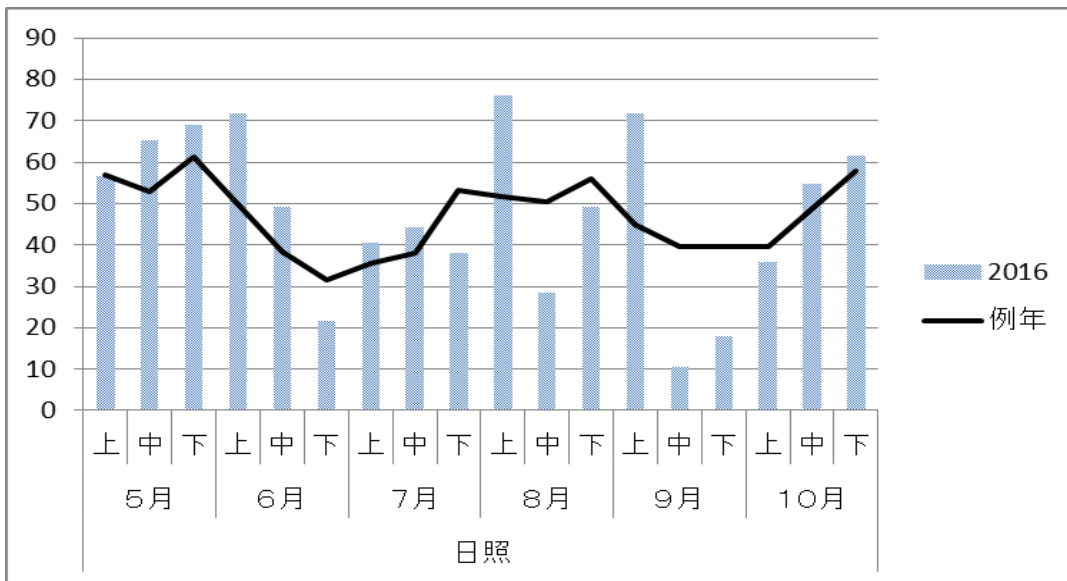
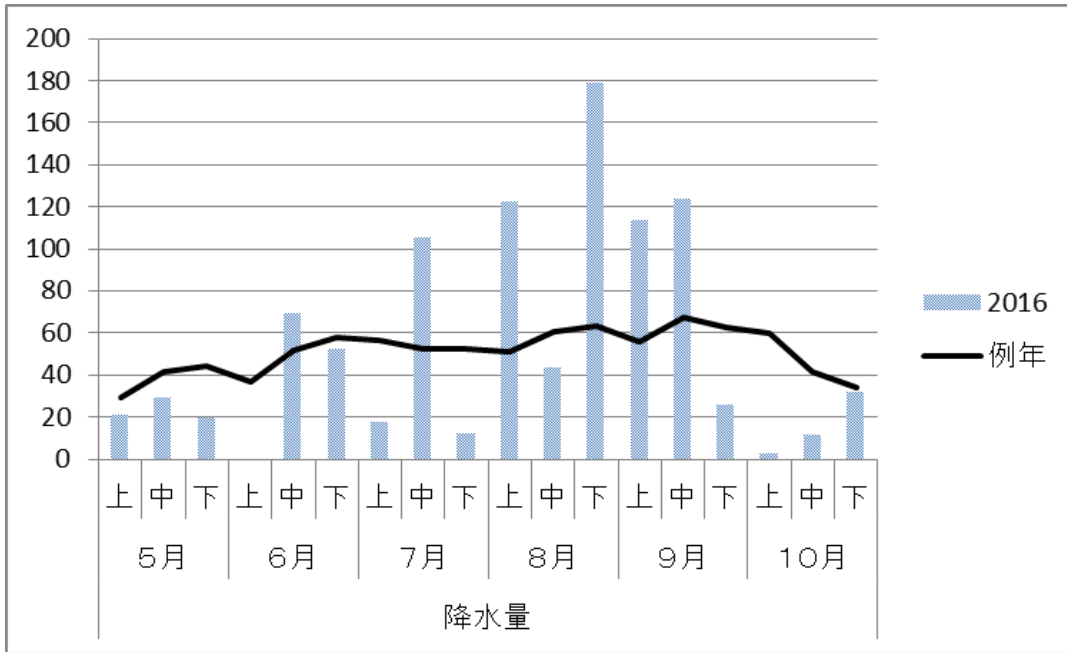
イネ縞葉枯病は、県南部の発生程度はやや低下しているものの、ヒメトビウンカの発生量によっては大きな被害となる可能性があるため H29 産についても対策が必要である。

いもち病は、平年よりも梅雨が長く、好適条件日数も多かったため、多く見られた。

イネ稲こうじ病は、主にあさひの夢で多く見られた。

・平成 28 年気象概況（佐野市アメダス）





【品質について】

コシヒカリの2等以下の格付け理由は、穂発芽と胴割れが主である。

28年度は、8月下旬～9月上・中旬に台風が多く上陸した。降雨によりコシヒカリが倒伏したこと、刈取り適期を逃したことが一因となり穂発芽、胴割れが助長されたと考えられる。

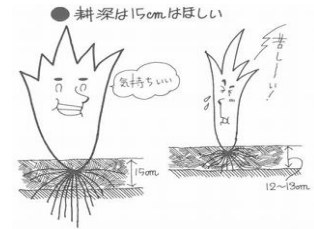
等級割合

品種	等級			
	1等	2等	3等	規格外
コシヒカリ	79.5	17.9	2.0	0.5
あさひの夢	95.8	3.9	0.3	0.0
とちぎの星	92.4	6.5	1.1	0.1

2. 29年産へ向けて

◆耕深は15cmを確保しましょう◆

じっくり茎を太らせ、穂を大きくし、登熟を向上させるため、現状のトラクターのスピードを1速落として耕しましょう！



◆浸種◆

☆浸種とは・・・種籾を水につけておくことで、催芽の前に十分に水を吸わせて発芽を揃えること。

表 積算温度の目安

種子の種類	積算温度	目安
消毒種子	120～130℃	水温 13℃で 9～10 日間 【例：水温 10℃×10 日間=100℃】
未消毒種子	100～120℃	

※浸種の水温が高いと催芽が不揃いになりやすいので注意！水温が上がりにくい日なたでの浸種は避けるとともに、水温上昇や雑菌混入を防ぐため、浸種槽をフタで覆いましょう。
※浸種期間中は2日毎に新しい水に取り替えましょう。薬液消毒種子の場合、浸種初日から3日間は水を交換せず、その後2～3日おきに交換しましょう。

◎優良種子を使用しましょう！

良質米生産のため、採種ほ産の種子を3～3.5kg/10a準備する。
未消毒種子は必ず種子消毒を行う。

◆催芽◆

☆催芽とは・・・発芽率を高め、発芽をそろえるために芽出しすること。

温度は28～30℃程度で行う。細菌病や馬鹿苗病予防のため高温にならないようにする。浸種が十分であれば、よく揃って芽が動き出し、芽が膨らんだ鳩胸から1mm程度の芽の長さになる。



◆土壌・育苗箱の消毒◆

・前年育苗中に立ち枯れ症状などの病害が発生し病原菌に汚染されている育苗箱は消毒を行いましょ。

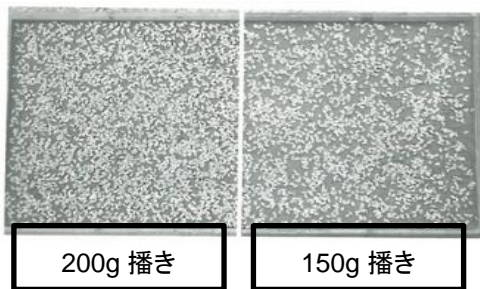
・粒状育苗培土は焼土により滅菌処理してあるが、育苗中に外部からカビ・細菌等の進入による病気の蔓延を予防するためにも薬剤を使用しましょう。

表 登録農薬一例

薬剤名	対象病害菌
タチガレエース液剤、タチガレエース粉剤	フザリウム菌、ピシウム菌
ダコニール1000、ダコニール粉剤	リゾープス菌

※農薬使用は、ラベルの表示を確認して正しく使用してください。

◆播種◆



1箱乾燥粃で150g以下で、均一に播種する。
(厚播は、ムレ苗や徒長苗などの原因となる)

苗の種類	乾粃播種量(催芽粃)	10a当たり使用箱数
稚苗	150(190)g/箱	17~18箱
稚苗	130(160)g/箱	20箱
中苗	100(130)g/箱	24箱

◆育苗◆

<温度管理>

- ・高温管理は、ムレ苗の発生要因となるので下記温度を参考に管理しましょう。
- ・早植栽培においては、シルバーラブ等遮光と保温効果のある専用資材で被覆する。普通植栽培の場合は、遮光率の高い資材を利用し、保温はあまり必要ない。

育苗初期の温度管理

昼間 25℃～18℃(30℃以上にしない)
夜間 10℃、最低5℃以上

育苗中期～後期の温度管理

昼間 25℃～18℃(30℃以上にしない)
夜間 5～7℃以上

<水管理>

- ・播種後、2～3日で覆土が持ち上がってくるので、持ち上がりの土を落とすように十分かん水する(中間かん水)。
- ・本田でプール育苗を行う場合、入水深は苗箱の培土表面より下の位置にする。苗を水没させると生育不良の原因となる。
- ・緑化期：極度に乾燥した場合以外はかん水を控え、初期の徒長を防ぐ。
- ・硬化期：床土の乾き具合、苗の生育状況を見て控えめのかん水に努める。

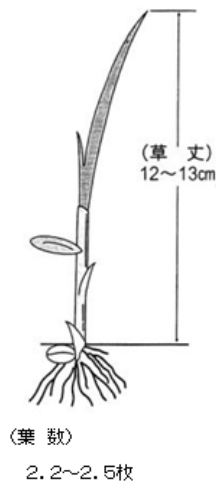
※苗を過保護にしない！また、急激な温度変化や水分変化をしないように注意！！



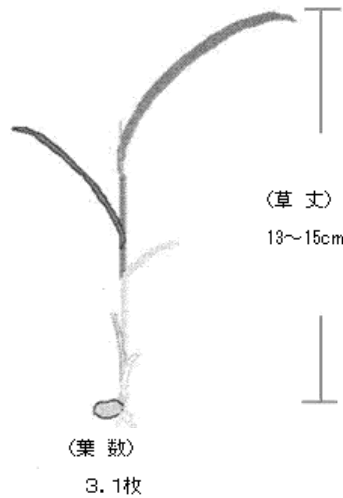
<育苗日数の延長>

- ・水不足等で移植作業が遅れ、老化苗を移植する場合、移植前日に箱当たり窒素成分0.5～1.0gを追肥して移植すると良い(水10Lに50～100gの硫酸を溶かし、20箱にジョウロで施用する。その後、清水をかける)。

よい稚苗の姿



よい半中苗のすがた

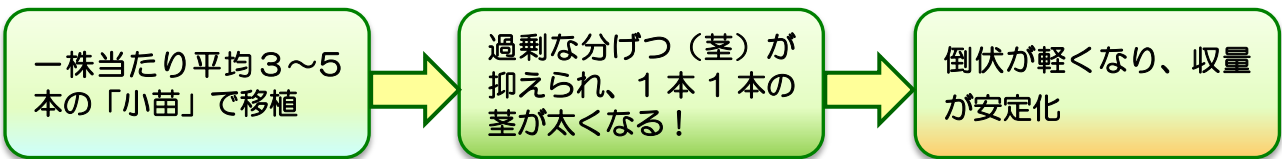


ムレ苗の原因

- ・ 床土の pH が高い
- ・ かん水のかけ過ぎ、保温のし過ぎ
- ・ 播種量が多い
- ・ 育苗器内で伸ばし過ぎ

◆移植◆

植付株数は 20~22 株/m²、植付本数は 3~5 本/株植を標準としましょう。6~8 本/株の植付けは、過繁茂や倒伏につながります。また、1~2 本/株の植付けでは、穂数不足や欠株を生じやすくなります。



◆施肥◆

基肥量が多すぎると、倒伏の原因になる。また、茎数が増えすぎて風通しが悪くなり、病害虫が発生しやすくなるなど収量・品質に影響します。

基肥はほ場の地力に合わせて加減しましょう！

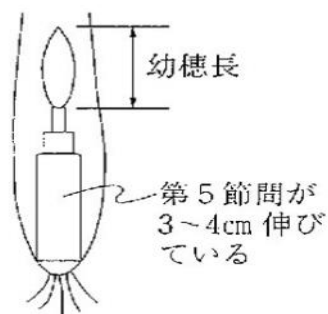
表 安足管内の品種別窒素の施用基準

作 期	品 種	基肥窒素量 (kg/10a)	穂 肥	
			時 期 (出穂前)	窒素量(kg/10a)
早植栽培	コシヒカリ	2 前後	-15 日	2~3
	あさひの夢	5~6	-18~20 日	2~3
	とちぎの星	4~5	-18~20 日	2~3

注) 早植栽培：5月20日までに移植するもの

作 期	品 種	基肥窒素量 (kg/10a)	穂 肥	
			時 期 (出穂前)	窒素量(kg/10a)
普通植栽培	コシヒカリ	1~2	-15 日	2 前後
	あさひの夢	5~6	-18~20 日	2~3
	とちぎの星	3	-15 日	2~3

カッターナイフで
縦割りした図



出典：「安心イネづくり」
p66(農文協)

～穂肥施用のための出穂前日数の確認の仕方～

- ①平均的な生育の株を探します。
- ②草丈の最も高い茎 1 本を根をつけたまま取ります。
- ③左図のように、カッターナイフ等で稲の茎を縦割りします。
- ④幼穂の長さを確認し、穂肥の施用時期を確認します。

例えば、幼穂の長さが

5mm の場合、出穂前約 20 日

8mm の場合、出穂前約 18 日、となります。

生育のバラツキを考え、5 株程度、幼穂の長さを確認してみましょう。

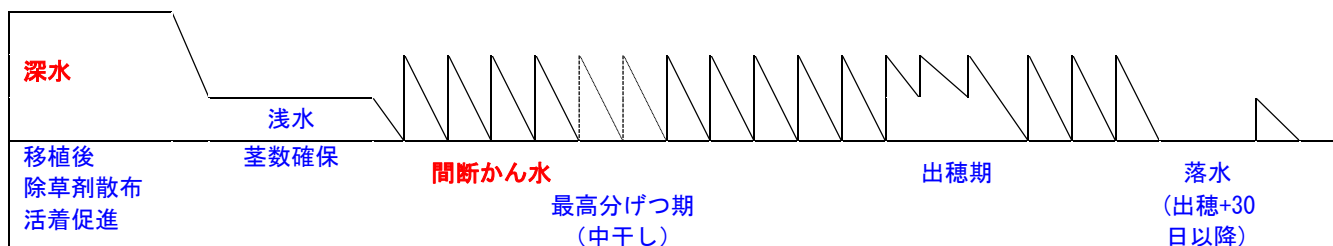
施用時期になったら BBNK-202 等を使い、窒素成分で 2～3kg/10a 施用しましょう！

◆ほ場の水管理◆

＜除草剤の散布時＞

- ・除草剤を散布する直前には、湛水深を 5cm 位のやや深水とする。
- ・散布後 1 週間は、絶対に掛け流し水とするしをせずに、除草剤の処理層を安定させる。
- ・その後は、差し水等で水深 3～4cm を保ち、地表面は絶対に露出させないように。

※「畦畔からの漏水防止」、「代かきの均平」、「健苗の育成」も、安全で効果的な雑草防除を行うためには必須！



＜生育期間＞

※移植後 1 ヶ月程度で、必要茎数が確保されたら間断かん水の実施！

☆間断かん水とは・・・ **かん水** → 足跡に水がたまっている。→ **かん水** の繰り返し。
田んぼに軽くひびが入る。

☆中干しの効果・・・ ○ 水稻の生育を抑制し、稈長の伸びを抑える
× 根を傷めてしまう

※基本的には行わなくてOKだが、**水はけが悪い田んぼ**や**茎数が多すぎて葉色が落ちてこない場合**は、最高分げつ期頃に軽く中干し（7～10日）をする。

出穂期：最も水を必要とする時期です。この時期に水が不足すると、受精や稔実に障害が起き、籾数が減少してしまいます。

☆落水は・・・

・玄米の大きさが決まるのは、出穂後約 4 週間かかるため、**出穂後 30 日間は落水せず、間断かん水で、ゆっくり成熟させる！**早期落水は乳白米や胴割米を増加させ、食味・品質が低下する。

☆出穂期とは・・・一粒でも頭を出したら出穂とみなし、ほ場全体の 40～50%が出穂。

☆穂そろい期とは・・・ほ場全体の 80～90%が出穂。

（出穂期と穂そろい期は 3～5 日程度の差がある）